

28日 木曜

黙示録

5:8 巻物を受け取ったとき、四つの生き物と二十四人の長老たちは子羊の前にひれ伏した。彼らはそれぞれ、豎琴と、香に満ちた金の鉢を持っていた。香は聖徒たちの祈りであった。

5:9 彼らは新しい歌を歌った。「あなたは、巻物を受け取り、封印を解くのにふさわしい方です。あなたは屠られて、すべての部族、言語、民族、国民の中から、あなたの血によって人々を神のために贖い、

5:10 私たちの神のために、彼らを王国とし、祭司とされました。彼らは地を治めるのです。」

5:11 また私は見た。そして御座と生き物と長老たちの周りに、多くの御使いたちの声を聞いた。その数は万の数万倍、千の数千倍であった。

5:12 彼らは大声で言った。「屠られた子羊は、力と富と知恵と勢いと誉れと栄光と賛美を受けるにふさわしい方です。」

5:13 また私は、天と地と地の下と海にいるすべての造られたもの、それらの中にあるすべてのものがこう言うのを聞いた。「御座に着いておられる方と子羊に、賛美と誉れと栄光と力が世々限りなくあるように。」

5:14 すると、四つの生き物は「アーメン」と言い、長老たちはひれ伏して礼拝した。

天での賛美や礼拝は完全なものと言えます。その礼拝の中で聖徒の祈りは香であるとあります。このことから聖徒たちの祈りは神様を完全にほめたたえることのできるすばらしいものであると分かります。このように私たちの祈りは決して無駄ではなく、主を讃えるものであると知りましょう。祈りを躊躇す



ることはありません。祈りが応えられるだろうか
と危惧する必要はありません。祈りましょう。

また御使いたちの賛美がささげられています。
私たちが地上ささげる賛美も、御使いたちと共に
ささげられるのですから、そのダイナミックさを感じながら
賛美しましょう。天と地上は、神様の権威によってつながっているのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

